

2023 年度第 2 四半期決算説明会 主な質疑応答

1. PW1100G-JM 追加検査プログラムについて

- ・ 今回の事象は様々な技術的な検証が必要だったこともあり、対策が必要な範囲が当初想定よりも拡大したことにより影響額が大きくなった。現在はパートナー間で十分なコミュニケーションがとれており、影響を最小限にすべく、連携して対応にあたる。

2. 第 2 四半期の業績評価および今期見通しについて

- ・ もともと年度下半期に利益が大きくなる傾向にあるが、特に今期は上半期の社会基盤での原価先行算入や資機材価格等の高騰分の価格転嫁が遅れていること等により、下半期に利益が集中するとみている。
- ・ 民間エンジン事業では第 2 四半期まで、PW1100G 本体の台数増加や、アフターマーケット費用の前年度からのズレ等が利益を押し下げているが、スペアパーツ取扱高は順調に回復しており、今年度下期は利益回復していくとみている。2025 年度の営業利益目標についても変更は無い。

3. 「グループ経営方針 2023」の今後の方向性について

- ・ 成長・育成事業への重点投資を行っていく方針に変更はないが、施策の優先順位見直しや費用削減にも取り組んでいく。また人への投資については継続して行っていく。
- ・ 構造改革については、具体的なことは議論の途中ではあるが、やるべき施策は実行していく。

4. 固定資産売却の可能性について

- ・ 現時点で具体的な案件が検討の俎上に上がっているわけではないが、固定資産売却は、財務基盤の回復や投資原資の確保のために取り得る一つの選択肢として検討している。

以上